

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	特に2階からの避難方法には不安がある。積極的に訓練を重ねていただきたい。	安全に素早く避難できるように、①②の全職員が避難方法、入居者の状況を共有し、訓練を重ねていく	3ヶ月に1度の訓練以外に毎月1回、当日勤務の職員で訓練をする。お互いのユニットの入居者の状況(ADL認知度等)の情報を共有する。	6ヶ月
2		運営推進会議に家族が多数参加できるような工夫が望まれる	家族が気軽に参加できるように工夫する	会議の3週間前には日時、テーマを知らせ参加の要請をする。会議が運営にどのように生かされているのかを根気強くお便り等で知らせる。参加メンバーを考慮し、堅苦しくない会議とする。	12ヶ月
3		さらに積極的に記録物を開示し、家族と共有される事を期待したい	積極的に記録物の開示を行う	一度家族会の折に開示した。今後は面会時等に記録物を提示し情報交換の一助とする。	6ヶ月
4		同業者が相互研修を行う中で、一人ひとりの職員が、ひなたぼっこでの取り組みを積極的に伝え、共にサービスの向上に努められる事を期待する	同業者との研修に積極的に参加し、ひなたぼっこでの取り組みを伝え、情報交換をする。	年2回の研修会には出来る限り多くの職員が参加し、交流や研鑽に努める。見学は積極的に受け入れる。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。